

JAバンク鳥取における地域密着型金融の取組状況(令和2年度)

JAバンク鳥取（鳥取県下 3JAと鳥取県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、令和1～3年度JAバンク鳥取中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

令和2年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 (JAバンク鳥取の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク鳥取は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク鳥取は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金等、制度資金の取扱いを通じ、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

令和3年3月末時点のJAバンク鳥取の農業関係資金残高^(注1)は14,554百万円（うち農業経営向け貸付金7,217百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は834百万円です。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

営農類型	令和3年3月末現在
農業	7,217
穀作	717
野菜・園芸	1,093
果樹・樹園農業	390
工芸作物	57
養豚・肉牛・酪農	979
養鶏・鶏卵	8
養蚕	4
その他農業	3,965
農業関連団体等	7,336
合計	14,554

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

2 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和3年3月末現在
プロパー資金	12,225
農業制度資金	2,328
(農業近代化資金)	(1,068)
(その他制度資金)	(1,259)
合 計	14,554

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAおよび当会原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。なお、プロパー資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金が含まれております。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク鳥取が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク鳥取が低利で融資するものを対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

受 託 先	令和3年3月末現在
日本政策金融公庫資金	834

(注)

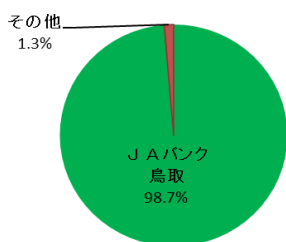
日本政策金融公庫資金は、農業(旧農林漁業金融公庫)にかかる資金をいいます。

JAバンク鳥取は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【鳥取県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱シェア】

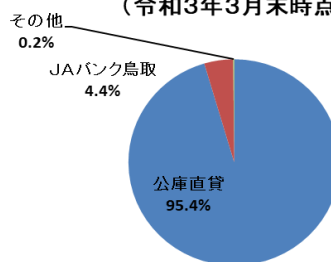
農業近代化資金取扱いシェア

(令和3年3月末時点)



公庫農業資金取扱いシェア

(令和3年3月末時点)



(2) 農業関連資金への利子補給

農林中央金庫と連携し、厳しい経営環境に直面する多様な農業の担い手に対し、借入負担の軽減を図ることにより、農業経営の安定化・効率化を支援することを目的として、農業関連の融資(農業制度資金、プロパー資金)に対して利子補給を行っています。令和2年度は972件、15,994千円の利子補給の助成申請を行いました。

(3) 農業近代化資金への保証料助成

JAバンク鳥取では、農林中央金庫と連携し、JAから農業近代化資金の融資を受ける農業者が負担する保証料について、負担の軽減策を図ることで、その経

営をバックアップし農業所得向上に向けた支援を行うため、保証料助成を行っています。令和2年度は94件、4,716千円の助成を行いました。

(4) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク鳥取では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、令和2年度末時点で県内に49名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は令和2年度末時点で県内に79名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

本会では、農業者の方に対し「農業メインバンク」としてより専門的・高度な農業金融サービスを提供するために、J Aと一体となった農業融資対応ならびにJ Aの取組み等のサポートを行う農業金融センターを設置しており、これらの機能の拡充・強化を図っています。

(5) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、信用・営農・経済部門合同での定期会議の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上にJ A内事業間連携を強化しています。

(6) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク鳥取は、担い手をサポートするため、経営のライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク鳥取では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

資金名	令和2年度 実行件数	令和2年度 実行金額	令和3年3月末 残高
青年等就農資金	28	89	450
就農支援資金	—	—	112
合計	28	89	562

(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援（商談会・ビジネスマッチング）

J Aバンク鳥取は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として、多様な機能を発揮しています。

(3) 新型コロナウイルス感染症の拡大により被害を受けた方への支援

新型コロナウイルス感染症により、直接的もしくは間接的な被害を受けている農業者に対して、農業者の経営をバックアップし、生産意欲の高揚を図ることを目的とし、資金繰りにかかる必要な資金の取扱いを開始いたしました。

また、当該資金にかかる借入負担の軽減を図り、その経営を支援するため、鳥取県、本会および農林中央金庫がJ Aから借入れる当該の資金繰りにかかる資金について利子補給を行います。また、本会および農林中央金庫が当該資金にかかる保証料の助成を行っています。

令和2年度は9件、465千円の保証料助成、7件、47千円の利子補給を行いました。

(4) 経営不振農業者の経営改善支援

J Aバンク鳥取では、負債整理資金の対応にあたり、農業者の経営再建に向けて関係機関と協議を行いながら取り組んでいます。

【令和2年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

債務者区分	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち期 中に再生計 画を策定し た先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画 策定率 = a / A	ランクア ップ率 = b / A
正常先①	0	0		0	-	
要注意先	うちその他 要注意先②	2	0	0	0.0%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	-	-
破綻懸念先④	2	0	0	2	0.0%	0.0%
実質破綻先⑤	0	0	0	0	-	-
破綻先⑥	0	0	0	0	-	-
小計(②～⑥の計)	4	0	0	4	0.0%	0.0%
合計	4	0	0	4	0.0%	0.0%

注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は令和3年1月末時点(県内JAの事業年度末)でのものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク鳥取では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク鳥取では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク鳥取ではJ Aグループと行政機関との連携による6次産業化の推進に向けた情報収集および農業者の販路拡大支援により、魅力ある農業・農村の実現を支援しています。

(3) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク鳥取では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【令和2年度負債整理資金の貸出実績】 (単位：件、百万円)

資金名	令和2年度 実行件数	令和2年度 実行金額	令和3年3月末 残高
農業負担軽減支援資金	0	0	14
畜産特別支援資金	0	0	64
合計	0	0	78

・農業負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

・畜産特別支援資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(4) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っています。

4 農山村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山村等地域育成への貢献

J Aバンク鳥取は、地域社会へ貢献するため、地域の小学生の農業に対する理解促進を目的に、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の全ての小学校を対象に5,481冊配布され、学校の授業等において活用されています。

以上